



# TOPICS

広報係



## 救急の日(9月9日)応急手当の普及啓発PR活動

このPR活動は、「救急医療及び救急業務」に対する地域住民の正しい理解と認識を深め、かつ不測の事態に対応するために必要な、冷静な観察と判断、正しい応急手当を身につけるため、「救急の日(9月9日)」及び「救急医療週間(9月5日～9月11日)」の行事の一環として、地域住民に応急手当の重要性についてPRすることを目的として実施しました。

**実施日** : 平成20年9月6日(土) 15:00～17:00

**場所** : 中央市下河東400

ロックタウン山梨中央ショッピングセンター内

**実施機関** : 甲府地区消防本部

甲府南消防署

**協力機関** : ロック開発株式会社(東京都千代田区)

この日、応急手当の普及啓発に関するPR活動として、ロックタウンセントラルコートで、来場者に風船や消火器型消しゴムの配布や高規格救急車の展示を行いました。

また、最近良く設置を目にするAED(自動対外式除細動器)の取り扱いと心肺蘇生法の指導を甲府地区消防本部と甲府南消防署の職員が行いました。



**AED取り扱いと心肺蘇生法の習得コーナーでは、操作手順を習得しました。**





高規格救急車の展示コーナーでは、普段乗ることのない救急車に人気が集まり、初めて見る車内の資器材に子供達からいろいろな質問がありました。

カメラを向けると皆楽しそうに笑顔で答え、撮影会になってしまいました。

(※写真は了解のうえ掲載しています。)





## AED(自動体外式除細動器)とは

### ♥ AEDってなに？



AED(自動体外式除細動器)とは、心臓がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態(心室細動)になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。

2004年7月より医療従事者ではない一般市民でも使用できるようになり、病院や診療所、救急車はもちろんのこと、空港、駅、スポーツクラブ、学校、公共施設、企業等人が多く集まるところを中心に設置されています。

AEDは、**操作方法**を音声ガイドしてくれるため、簡単に使用することができます。

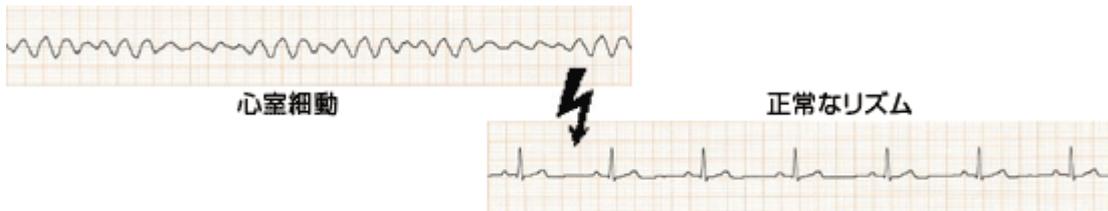
また、心臓の動き(心電図)を自動解析し、電気ショックが必要な方にのみ電気ショックを流す仕組みになっているので、安心です。

最近では、一般市民の方がAEDを使用して救命した事例も増えてきました。

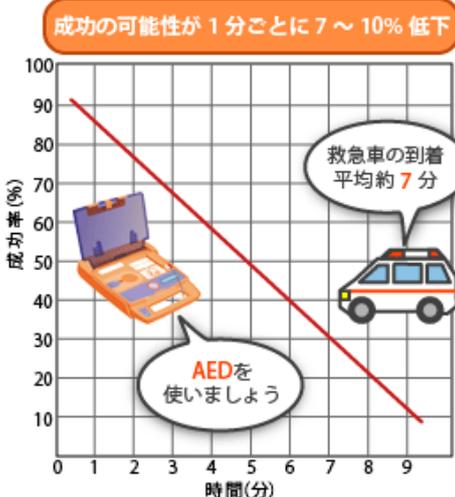


### ♥ 心室細動ってなに？

心室細動とは、心臓の筋肉がけいれんをしたような状態になり、全身に血液を送るポンプ機能を失った状態になる致死性不整脈の一つです。心室細動の唯一の治療方法が、除細動器(AEDを含む)で電気ショックを与えることだと言われています。



### ♥ 1分1秒でもはやく



電気ショックは、心室細動であれば、どんなときでも成功するものではありません。

時間との勝負です。一分一秒でも早く電気ショックを行うことが重要です。

電気ショックの成功率は成功の可能性が1分ごとに7~10%低下します。日本では、救急車の到着まで平均約6分です。

グラフから見ると、6分時の成功率は40%です。

救急車が到着する前に傷病者の近くにいる私たち一般市民がAEDを使用して電気ショックをできるだけ早く行うことが重要になります。

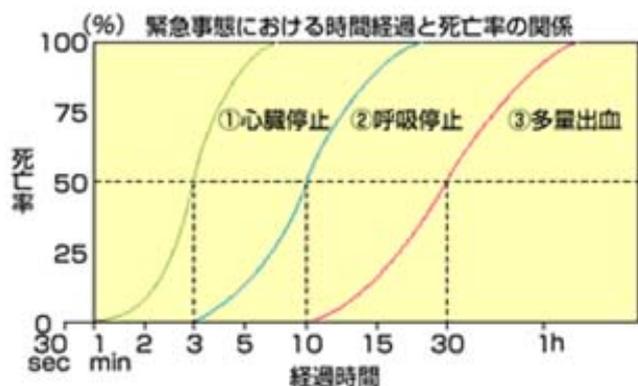
参考文献：AHA 心肺蘇生と救急心疾患治療のための国際ガイドライン 2000  
※ 成功率：ここでは生存して退院する可能性を言います。

# 救急車の適正利用にご協力を！

本当に必要な時、利用できるでしょうか？

甲府地区消防本部管内の平成20年中の救急出動件数は1万1,393件で、1日平均31件の割合で出動したことになります。

救急車の要請で一番多かったのが「急病」で6,532件に出動し、6,032人を病院へ搬送しました。二番目に多かったのが「交通事故」で1,613件に出動し、1,686人を病院へ搬送しました。三番目に多かったのが「一般負傷」で1,406件に出動し、1,324人を病院へ搬送しました。



左の図は、心臓・呼吸停止などの緊急時における経過時間と死亡率の関係を示したものです。

例えば、心臓停止では3分間放置されると死亡率が約50%に、呼吸停止では10分間放置されると死亡率が約50%になります。

このことは、緊急事態が重大であるほど早く適切な応急手当をしなければ、死亡者が増加することを意味しています。

救急車は、けがや急病などで緊急に病院に搬送しなければならない傷病者のためのものです。

緊急ではないのに救急車を要請すると、本当に救急車を必要とする事故が発生した場合、遠くの救急車が出動することになり、到着が遅れることで、救える命が救えなくなるおそれがあります。

緊急性がなく自分で病院に行ける場合は、救急車以外の交通機関等を利用してください。

傷病者の様子や事故の状況などから、急いで病院へ連れて行ったほうがよいと思ったときには、迷わず119番通報をしてください。

**「助かる命を救いたい！」**  
救急車は緊急性のある方のために使います。

## 平日夜間・休日の医療機関の確認は

甲府市医師会救急医療センター 055-226-3399

山梨県救急医療情報センター 055-224-4199

【注意】 甲府市及び中巨摩東部地区（※）を除く全地域

※ 中巨摩東部地区の対象区域は、次のとおりです。

甲斐市（双葉町を除く）・中央市・昭和町

## 山梨県広域災害・救急医療情報システム

やまなし医療ネット [HTTP://WWW.YAMANASHI-IRYU.NET/Q019/](http://www.yamanashi-iryu.net/Q019/)

救急車を本当に必要とする人のために  
みなさんのご理解とご協力をお願いします